

Join

国際理解教育通信
第31号
2018年9月発行



7月に実施した台湾短期留学（受け入れ）についての報告です！

ホスト生は、中等部からは林亜光さん、中村香音さん、紀本優くんの3名、

高等部からは西村京香さん、吉田理紗さん、中村綾汰くん、林戸俊くんの4名です。

また、今回は、国際交流委員も大活躍してくれました。



【歓迎会】

放課後に、自由参加で歓迎会！100名近い参加者で大盛況！ゲームやトークタイム（もちろん英語！）など、楽しい時間でした。国際交流委員が、企画・準備・装飾・司会・進行まで頑張ってくれました。

7/10

台湾生7名、引率教員3名到着！



【和菓子作り体験】

午前の授業と交流を終え、午後は台湾生とホスト生で京都へ！歴史ある和菓子店で、和菓子作りに挑戦です。季節の花を形どった重菓子里に、四季を愛する日本の心を感じ取ってもらえたのではないのでしょうか。初めての経験に、ホスト生も台湾生も、夢中になって取り組んでいました。

【初等部交流】

初等部の児童たちが、歓迎イベントを開いてくれました。児童のかわいさに、台湾生も笑顔が止まりません。けん玉や折り紙をしたり、歌を歌ったり、とても楽しいひとときでした。

7/11

授業参加・初等部交流
京都で和菓子作り♪



7/12

授業参加

台湾プレゼン発表！

【プレゼン発表】

中等部・高等部それぞれ、受け入れ学年である二年生を対象に、台湾生がプレゼン発表をしてくれました。中等部も高等部も、台湾生の高い英語力や、観客の興味をひくプレゼン技術に、大きな刺激を受けたようです。



7/14&15

ホストファミリーと過ごす時間

7/13

授業参加

J1 国際系列との交流
クラスお別れ会・送別会

【送別会】

放課後は、受け入れクラスでのお別れ会の後、自由参加の送別会へ。こちらも100名近い参加者で、台湾生のダンスやスピーチを聞いたり、ダンス部のパフォーマンスがあったりと楽しい時間を過ごしました。歓迎会同様、国際交流委員が運営してくれました。

7/16

台湾へ帰国...
See you again!

【J1国際系統交流】

J1の総合学習—国際系列の授業で、文化交流企画！台湾生は歌とダンスを、J1生は日本拳法と校歌を披露しました。トークタイムでは、台湾名物タピオカミルクティーを片手に、英語でいろいろな話をしました。



●食堂コラボ企画 ～台湾スイーツ～

台湾生の受け入れに際して、学校の食堂と国際交流委員がコラボし、台湾スイーツを期間限定メニューに加えました。生徒が台湾の名物スイーツを調べ、食堂の店長さんや管理栄養士さんと交渉を重ね、実現したメニューはこちらです！ユニークなキャッチフレーズにも注目です。

<p>タピオカミルクティー</p>  <p>180円(税込み) 7月11～13日発売 昨年好評により、 今年も発売!! タピオカミルクティー</p>	<p>マンゴープリン</p>  <p>まろやかな舌触りで、 あなたを未知の世界へいざないます。 180円(税込み) 7月12日発売</p>	<p>豆花</p>  <p>フルーツゴロゴロ 中身とろとろ 250円(税込み) 7月11日発売</p>	<p>タロイモパイクッキー</p>  <p>甘すぎない味で、 あなたを満足させてみます。 三個/150円(税込み) 7月13日発売</p>
---	--	---	--

●ホスト生の感想

台湾短期留学参加者として、今回台湾生のホームステイを受け入れたホスト生による感想をご紹介します！

1週間は短くて一瞬で過ぎてしまったけど、毎日充実していて本当に楽しかった。ファミリーデーは特に暑くて大変だったけど、後から思えばそれも良い思い出な気がする。1週間で英語力が向上したかと言われると正直わからないが、今回のプログラムを通して、以前より積極的になれたと思うし、説明するために調べたりして地元に詳しくなれた。お別れするのは寂しかったけど、今後も時々連絡を取り合おうと約束した。本当に貴重な経験になったし参加して良かった。

初めての経験だったけども、結果的にとても良い思い出が出来たし、英語能力も伸びたし、全てが良かったです！

僕は、オーストラリアでホームステイをした経験があり、今回も台湾でホームステイをしましたが、自分の性格上、初対面の人にものを頼んだり自分の意見を言ったりすることがあまり得意ではなく、ホームステイに行ってもホストファミリーが提案してくれたことに「Yes」や「yeah」などでしか返せず、とてももったいない時間を過ごしていたと今では思います。しかし、ホームステイの受け入れは当然受け身ではなにも始まらず、自分から話しかけるきっかけにもなりました。「日本語をそのまま英語に訳すのではなく、できるだけ簡単な英語に言い換える」など、英語を話すコツを自分なりに掴めたと思います。

今回のこの交換留学プロジェクトを通して痛感したのは語学能力の差です。僕たち日本人は英語を習得するのに中1から高3まで勉強して習得できる人がほとんどですが、台湾では中国語、英語プラスもう1カ国語喋ります。この先の将来自分が彼らと社会の場で競争すると考えると今のままではいけないと感じました。

秋の国際交流イベント

文化祭では、シンガポール・台湾短期交換留学のポスターを展示しました。11月にはシンガポール生が高等部2年生のみなさんと一緒に1週間勉強する予定です。他の学年やクラスにも入るかもしれませんので、交流を楽しみにしておいてください！